

平成26年度 公益財団法人埼玉県体育協会臨時評議員会 議事録

日 時 平成26年9月26日(金) 午後3時より
会 場 ラフレさいたま4階 檜の間
出席者 <評議員>
牛久保 努 小原 敏彦 林 一夫 坂口 信豊 遠山 正博
中島 政司 中田 茂男 武藤 幸政 赤沼 昇
<理事>
櫻井 勝利 森 正博 三戸 一嘉 杉山 剛士 相坂 賢将
青砥 修二 浅見 茂 有川 秀之 小林 正幸 小山 吉男
佐藤 高弘 瀬尾 直朝 野中常七郎 羽鳥 利明 日比野栄三
松岡 良博 宮下 達也 茂木 敬司 柳川 典昭
<事務局>
岩崎 充晃 栗原 健一 長谷川 伸 阿部 隆宏 久保 吉史

岩崎事務局長 只今から、平成26年度公益財団法人埼玉県体育協会臨時評議員会を開会致します。

評議員数15名、うち出席者9名。よって定款第18条により、本日の評議員会が成立したことをご報告致します。

開会にあたりまして、櫻井勝利副会長がご挨拶申し上げます。

櫻井副会長 (代表理事) みなさんこんにちは。平成26年度臨時評議員会を開催しましたところ、お忙しい中ご出席をいただき心から御礼申し上げます。

さて、第69回国民体育大会本大会「長崎がんばらんば国体2014」会期前の水泳競技会並びにカヌー競技会の一部が行われ、無事終了しました。埼玉県は、冬季大会からの通算成績で天皇杯男女総合成績第3位という好位置につけています。来月12日には、本大会の総合開会式が行われ、22日までの11日間、長崎県内各地で熱戦が繰り広げられます。本会としても天皇杯男女総合成績第3位以内を目標に取り組んでまいります。

もう一点は、ご案内の通り、日本スポーツマスターズ2014埼玉大会が今月23日をもって無事終了致しました。史上最多8200名ものシニアアスリートが県内各会場に集まり、友好親善を深めるとともに、熱い戦いが繰り広げられ、多くの成果を収めました。この場をお借りして、会場の県内13市の関係者の皆様、そして競技実施にあたりご尽力いただきました各競技団体の皆様方に心から御礼を申し上げます。ま

た、この期間中には、第18回日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流の韓国選手団の受入も行われました。韓国の江原道を中心とするシニアアスリート191名が9月18日に来県し、マスターズ大会10競技会にそれぞれ参加し、24日に無事帰国致しました。この事業も6泊7日の事業ということで、競技の合間には、文化交流も行われるなど、スポーツを通じた友好親善に寄与することができたのではないかと思います。

結びに、本日の議題は補正予算の案件等についてご協議いただきますが、議事がスムーズに進行できますよう、皆様方にご協力をお願い申し上げます。

岩崎事務局長

ありがとうございました。

それでは、議事に入ります。第1号議案の議長選出まで、代表理事の櫻井副会長に議事進行をお願いしたいと思います。

櫻井副会長
(代表理事)

それでは、ご指名いただきましたので、議事進行を務めさせていただきます。

本会定款第15条第3項により、評議員会の議長を本日出席の評議員の皆様のご互選で選任したいと思います。皆様からご意見ありますか。

遠山評議員

事務局案はありますか。

櫻井副会長
(代表理事)

遠山評議員より事務局案による推薦にしてはどうかとの意見がありますが、皆様いかがでしょうか。

出席評議員

異議なし。

岩崎事務局長

事務局案としては、坂口評議員を議長に選任したいと思います。いかがでしょうか。

櫻井副会長
(代表理事)

本会議の議長については、事務局案として坂口評議員を選任したいとのことですが、よろしいでしょうか。

出席評議員

異議なし。

櫻井副会長
(代表理事)

異議なしということで、坂口評議員に議長をお願いしたいと思います。なお、これをもって議事進行の役を下させていただきます。

坂口議長

皆様のご推薦により、議長を務めることになりました。ご協力の程よろしく申し上げます。

それでは、第2号議案、議事録署名人の選出について、本会定款第19条第2項により、評議員会に出席した理事及び評議員の中から選出された議事録署名人2名以上となっておりますが、選出方法について、皆様からご意見ありますか。

出席評議員 議長一任。

坂口評議員 議長一任というお声をいただきましたので、私の方でご指名させていただきます。理事より佐藤高弘理事、評議員より中島政司評議員の2名にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

出席評議員 異議なし。

坂口評議員 それでは、佐藤理事、中島評議員、お二人に本日の議事録署名人としてお願い申し上げます。

続きまして、第3号議案、平成26年度予算の補正について、議案と致します。説明をお願いします。

三戸副会長
兼専務理事 平成25年度の剰余金が約14,500,000円ということで、その用途につきましては、平成25年度分の支払消費税にあてる所までは決まっております。その後、支払額が確定致しましたので、租税公課費として、当初予算35,000円のところ、2,750,000円補正し、予算現額2,785,000円にさせていただきたいと思います。また、11月1日のアイスアリーナオープンにあたり、新聞等マスメディアを通した広告費が必要だろうということで、新たに広告宣伝費という科目を設け、800,000円補正を行い、充実を図りたいと考えております。また、競技力向上事業は、ジュニア育成を中心に拡充したいと考えており、第2期強化訓練事業の当初予算4,875,000円に950,000円の補正を行い、予算現額5,825,000円とさせていただきたいと思います。更にスポーツ総合センター会計は、老朽化した施設の修理、維持、修繕とともに、スポーツ活動拠点としての充実をより図っていくため、当初予算5,500,000円から10,000,000円の補正を行い、予算減額を15,500,000円とさせていただきたいと考えております。

過日の第2回定例理事会において、本議題につきましては説明申し上げ、ご承認いただいた所でございます。定款第8条に「この法人の事業計画及び収支予算、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の決議を得て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場

合も、同様とする。」となっておりますので、今回提案致します。

坂口議長

ありがとうございました。第3号議案についてご説明いただきましたが、ご質問等ありますか。

遠山評議員

施設の老朽化については、利用者側で考えても早急に改修すべきと考えますが、浄化槽の修繕に3,680,000円とありましたが、比較的安価に感じますが、間違いないでしょうか。

また、貸出施設照明LED化については、6,630,000円となっておりますが、これは館内全体をLED化するということですか。

三戸副会長
兼専務理事

浄化槽の修繕については、業者から見積もりとっておりますので、大幅な費用の増減はないかと思えます。施設のLED化については、基本的には、多目的室や競技団体事務室など、利用度の高い所からやりたいと考えております。この他にも、今後新たに修繕が必要な箇所が出てくる可能性もありますので、その都度、全体の執行状況を確認しながら進めていかなければならないと考えています。

遠山評議員

ぜひともLED化を進めていただければと思います。よろしくお願ひ致します。

坂口議長

ありがとうございました。それでは、お諮り致します。第3号議案平成26年度予算の補正について、ご承認いただけますでしょうか。

出席評議員

異議なし。

坂口議長

ありがとうございました。異議なしということで第3号議案については、可決致しました。

続いて、報告事項に移ります。(ア)評議員の辞任について、報告をお願い致します。

三戸副会長
兼専務理事

金子評議員から、一身上の都合により、本日付で評議員辞任届が提出されましたので、ご報告申し上げます。

坂口議長

ありがとうございました。説明が終了致しましたが、ご質疑等ありましたらお願いします。(なし)

続きまして、報告事項(イ)各事業並びに委員会報告をお願い致します。

三戸副会長
兼専務理事

8月を中心会期として、第70回国民体育大会関東ブロック大会が栃木県で行われ、埼玉県は、都県全体で本年度57.6%という突破率でありました。昨年は、59%ですので若干下げております。入賞ポイントについては、昨年388.5ポイントでしたが、今年は344.5ポイントとこちらも下げております。前回大会でブロック大会が免除であった東京都が、今大会から戻ったのも要因のひとつと考えられますが、神奈川県は、同様に突破率が前回大会の55.6%から50.8%と下げているものの、入賞ポイントは、293.5ポイントから339.0ポイントと上げています。集団ボールゲーム等団体競技の出場数が多いと本大会入賞ポイントが高くなります。いずれにしても、今大会は、激戦になると予想しております。

その後9月に入り、本大会会期前競技として水泳競技会とカヌー競技の一部が行われました。カヌー競技はワイルドウォーター種目が行われ、残念ながら入賞種目はありませんでしたが、水泳競技については、282.0点を獲得し、見事競技別男女総合成績第1位に輝きました。これにより、10月12日から行われる本大会に向けて弾みがつきました。なお、天皇杯成績については、会期前競技会終了時点で第3位、得点は451点、一方、皇后杯成績は第8位ということで順位を下げています。関東ブロック大会の突破率も含め、成年女子が伸び悩んでおりますが、本大会では、男子あるいは少年勢が得点を稼いでカバーするような形になればと考えております。

あわせて、9月3日に行われた第70回国民体育大会選手・監督選考会議を経て、本県選手団580名が編成され、9月18日には、結団式・壮行会が開催されました。国体関係は、以上です。

続いて、東日本大震災復興祈念事業についてご報告申し上げます。この事業は、毎年東日本大震災において被災された福島のお子さんをお招きして、当センターを中心に思う存分遊び、様々な交流を通して普段なかなか思う存分運動できない分を、この機会に発散していただくということで、花火をやったり、プールに入ったりと本県スポーツ少年団員とそれぞれ交流を深めました。

続いて、私共理事につきましても、会長を除く全員がそれぞれの委員会に所属しております。すでに会議を開催した委員会については、それぞれ正副委員長も決定しましたので、ご報告申し上げます。

続いて、総務委員会報告に移ります。7月31日に第1回総務委員会を行いました。正・副委員長の選任の他、アイスアリーナのネーミングライツについて協議致しました。

続いて、選手強化対策委員会関係ですが、7月1日に選手強化コーチ

研修会兼必勝対策会議をスポーツ総合センターで行いました。その後、9月3日には、第2回選手強化対策委員会を開催し、長崎がんばらんば国体2014埼玉県選手団の総務及び会長指名派遣者についてご協議いただきました。

坂口議長 ありがとうございました。続いて普及委員会の報告をお願い致します。

茂木理事 8月20日に第1回普及委員会を開催致しました。正副委員長の選出が行われた後、スポーツ啓発活動について話し合われました。ホームページのリニューアルをきっかけに、ソーシャルネットワークサービス（SNS）を導入したところ、非常に活用されているという事で、SNSによる情報発信に力を入れていきたいと考えております。啓発物品に関しては、毎年本会キャッチフレーズの入ったものを作成しています。今年度は、リフレクターキーホルダーとジャガードフェイスタオルを作成し、アイスアリーナ竣工記念、また日韓スポーツ交流・成人交歓交流の交換品を兼ねて、配布を計画しております。

坂口議長 ありがとうございました。続いて広報委員会の報告をお願い致します。

宮下理事 7月3日に第1回広報委員会を開催致しました。正副委員長の選出後は、今年度4回の発行を予定している広報誌「スポーツ埼玉」の企画について主に話し合われました。今年度は、第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体2014」をはじめ、日本スポーツマスターズ2014埼玉大会、(仮称)埼玉アイスアリーナのオープンなど、本会関連事業が目白押しとなっております。各号でそれぞれ特集記事を組んで、多くの方々にアピールしていきたいと考えております。なお、今年度より発行部数を各号8000部と大幅に増刷致しました。新たな配布先として埼玉県理容組合に加盟する県内約2600店舗、埼玉県ゴルフ練習場連盟に加盟する事業所の91箇所、JAバンク埼玉の県内約300支店を加え、本会広報誌の県民への認知度アップが大いに期待されます。

坂口議長 ありがとうございました。続いて施設委員会の報告をお願い致します。

羽鳥評議員 7月23日、第1回施設委員会を開催致しました。はじめに正副委員長の選出が行われました。主な議題としては、スポーツ総合センターの

改修計画についてです。照明の LED 化、あるいは浄化槽の改修等、年数が経っていることから、順次維持修理、修繕を行いたいという説明がありました。更にサービス向上に関する項目については、体育館の監視カメラの整備あるいは宿泊棟にヘアドライヤー用のコンセントを整備するなどサービス向上に努めていくという説明を事務局よりいただきました。これらの説明の後、(仮称) 埼玉アイスアリーナについてもご説明いただきましたが、先ほど、三戸副会長兼専務理事からお話がありましたので省略をさせていただきます。その他として、新たにアイスアリーナが整備されることから、スポーツ総合センターとの相互利用について、競技団体とのヒアリングを行い、内容を精査し、前向きに検討していく旨報告があり、各委員、異論なく了解し閉会となりました。

坂口議長

ありがとうございました。続いてスポーツ科学委員会の報告をお願い致します。

小林理事

委員長を仰せつかっている小林です。スポーツ科学委員会は、コーチング専門部会、スポーツ科学専門部会、スポーツ医学専門部会、ドーピング防止専門部会の4つの専門部会で構成されており、それぞれの内容について、実施に向けた検討を行っています。コーチング専門部会では主に埼玉県スポーツ指導者研修会をはじめとした各種研修会の講演内容、それに伴う講師の選定について、スポーツ科学専門部会では、彩の国プラチナキッズやメディカルチェック・体力測定事業について、スポーツ医学専門部会では、国民体育大会における帯同ドクターの選任、彩の国プラチナキッズへの協力について、ドーピング防止専門部会では、ドーピング防止研修会における資料の確認、国体候補選手の間診票の表記及びチェック、フィードバックについて、それぞれ話し合われました。

坂口議長

ありがとうございました。続いてスポーツ少年団の報告をお願い致します。

佐藤理事

本年6月14日の代議員会において本部長に就任を致しました、佐藤高弘と申します。蕨市からの選出です。よろしくお願い致します。

さて、5月の第1回本部員会に引き続き、7月4日に第2回本部委員会を開催致しました。議題につきましては、①の平成26年度事業については、それぞれ確認をしあったところであります。②の団員・指導者増加策に関するプロジェクト設置については、現在課題であります団員の減少に対する対処のための特別プロジェクトを設置したということ

で、すでに3回程の会議を経ております。③の26年度種目別交流大会運営費については、従前どおり13種目に運営費の配分を行ったところです。④の東日本大震災復興祈念事業につきましては、先程ご報告があった通りであります。⑤の所属専門委員会については、従前、5委員会で行っていましたが本年度から3委員会とコンパクトに致しました。同時に指導者協議会については、独立機関として本部への意見具申を中心に活動してもらうということで本部組織とは一線を画す形をとらせていただきました。以上、報告とさせていただきます。

坂口議長 ありがとうございました。続いて物品等請負業者審査選定委員会より報告をお願い致します。

櫻井副会長 7月4日、スポーツ総合センターにおいて「第70回国民体育大会関東ブロック大会宿泊業務委託」請負業者の選定が行われ、プロポーザル方式のプレゼンテーションを7月30日に審査員を組んで実証致しました。その結果、日本旅行埼玉支店に落札を致しました。

また、昨日の9月25日に平成26年度埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会宿泊等請負業者の選定を行い、10月9日に本件の入札を行います。以上2件について、報告をさせていただきました。

坂口理事 ありがとうございました。続いてスポーツ指導者協議会より報告をお願い致します。

三戸副会長
兼専務理事 6月26日、スポーツ総合センターにおいて第1回理事会を開催致しました。協議内容につきましては、25年度事業報告・決算、平成26年度計画・予算についてと全国表彰の受賞候補者の選考を行いました。結果、19名の方々が選出されましたが、内1名が推薦を辞退されるということで、結果的には18名の方々を全国表彰の候補者として決定致しました。以上、報告でございます。

坂口議長 ありがとうございました。続いて日本スポーツマスターズ2014埼玉大会についてご報告をお願い致します。

三戸副会長
兼専務理事 日本スポーツマスターズ2014埼玉大会については、ご案内の通り約8200人という史上最多の参加をいただき、7日間にわたって行われ、今月23日で全競技日程を無事終了致しました。この期間中には、第18回日韓スポーツ事業・成人交歓交流（受入）もあわせて行われました。この事業は、ワールドカップの共同開催を契機に国が薦めている

事業で、マスターズ大会と同時に開催されています。今月の18日から24日まで、イム・スホン団長以下10競技計191名の韓国選手団をお迎えして、各競技会への参加はもとより、文化交流なども行われました。なお、10月30日から11月5日の7日間、埼玉県選手団と来年開催の石川県の選手団45名を加えた約195名の方々が、韓国を訪問（派遣）して同じような交流をすることとなっています。埼玉県の本部役員には、宮内理事、羽鳥理事を推薦し、各競技の役員・選手らとともに韓国を訪問していただくことになっております。以上でございます。

坂口議長

ありがとうございました。報告事項（イ）各事業並びに委員会報告まで終了致しましたが、ご質疑等ありましたらお願いします。（なし）

それでは、報告事項（ウ）仮称埼玉アイスアリーナについて報告をお願い致します。

三戸副会長
兼専務理事

アイスアリーナの整備においては、本会が約379,000,000円の財産を取得すると同時に、ある意味負債をかかえる仕組みになっております。定款では、評議員会の議題には該当しませんが、評議員の皆様には知らせすべき事項であると、代表理事はじめ副会長と相談の上、今日臨時評議員会に報告することになりました。

工事については、順調に進んでおり、10月上旬に竣工のための検査が行われ、10月中旬には実質使えるようになります。

11月1日に予定しているオープニングセレモニーに向けて、10月25日、26日の2日間、競技団体の皆様にご協力いただき、プラチナキッズの子供達への指導を行っていただくこととなりました。そのうえで、オープニングセレモニーにお越しいただく招待選手からプラチナキッズに対し、指導を仰ぎたいと考えております。

さて、アイスアリーナ整備における仕組みは、建設協力金に似た考え方で、基本契約の他、建物賃貸借契約などを行い、建物の保存登記は本会で行います。保存登記により建物の所有者となりますが、一方負債を抱えておりますので、31年間建物を賃貸し、その賃貸料で返還します。

なお、埼玉アイスアリーナ基本契約については、ひょうご西宮アイスアリーナの例にならって、リスク管理を行いたいと考えております。

最後に、ネーミングライツパートナー契約ですが、こちらは、命名権の対価や権利等について定め、建物維持を運営会社だけに頼らず、本会独自の資金を得ることにより、本来の目的である収益事業から利益の50%繰入による公益目的事業の充実を図るために行うものです。なお、先般公募致しましたが、応募はありませんでした。従って、今後は個々

の企業を訪問して説明し、探していくこととなります。現時点でいくつかの企業をリストアップしております。

なお、アイスアリーナ整備に伴う各種契約については、現在弁護士及び会計士等と相談しながら法的に間違いのないよう、慎重に確認を進めていることを付け加えます。以上でございます。

坂口議長

ありがとうございました。すべて説明が終了致しましたが、ご質疑等ありましたらお願いします。(なし)

それでは、本日の議事を全て終了致しましたので、以上で議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

岩崎事務局長

坂口議長には、長時間議長をお勤めいただきありがとうございました。以上をもちまして、平成26年度公益財団法人埼玉県体育協会臨時評議員会を閉会致します。

会議終了 午後3時55分